

# パソコンの「フォント」とは

---

## ここで勉強すること

---

- パソコンのフォント
- 名前に「P」のつくフォントについて
- 縦書きできる文字とできない文字

## パソコンのフォント

---

パソコンには様々なフォントが用意されています。

フォントとは、パソコンの画面に表示される文字書式のことです。

例えば文字全体が角張っている「ゴシック体」や、文字の要所にウロコと呼ばれるでっぱりがある「明朝体」、筆で書いたような「行書体」などがあります。

このフォントは、文章をパソコン画面に表示するときや、印刷するときに使われます。



あいうえお



あいうえお



あいうえお

## 名前に「P」が付くフォントについて

---

このフォントの中には、名前に「P」がつくフォントと、そうでないフォントがあります。例えば、「MS ゴシック」と「MS P ゴシック」などです。

この名前に「P」がつくフォントを、「プロポーショナルフォント」といいます。プロポーショナルフォントとは、文字の左右の空白を詰めているフォントで、一文字一文字ずつ文字の幅が違います。

対して、プロポーショナルフォント以外のフォントは等幅フォントとも呼ばれ、全ての文字幅が一緒です。場所によってどちらかのフォントが使われています。

あいう ABC

右の文字は、上のものが等幅フォントの「MS ゴシック」。下のものがプロポーショナルフォントの「MSP ゴシック」です。等幅フォントのほうがひらがなの字幅が広く、逆に英語の字幅は狭いことがわかります。

あいう ABC

## 縦書きできる文字とできない文字


多くのフォントは、文章を横書きするために作られています。

文章を書き込める「テキストボックス」を選択したときに表示される、「テキストボックスツール」より、「文字列の方向」を選ぶことで、文字を縦書きにすることは出来ますが、数字やアルファベットなど一部の文字は縦書きにできず、文字が90度回転したように表示されてしまいます。

このような文字は半角文字と呼ばれ、等幅フォントではひらがなや漢字などの半分の横幅をもつことから、このように呼ばれています。

これらの文字は、横書きにすることが出来ず、右のように横に90度回転されたように表示されます。

ただ、ほとんどの半角文字は、全角文字にも同じ文字があります。これを使えば数字や英語でも縦書きが可能になります。必要に応じて使い分けてみましょう。

 文字列の方向

あ  
い  
う  
A  
B  
C

あ  
い  
う  
A  
B  
C